

事業評価シート

担当課・室長：地球温暖化対策課長

事業名	温室効果ガスの排出量・吸収量モニタリング、登録システムの整備
上位施策名	地球温暖化対策
1 事業の概要	<p>各温室効果ガスの排出係数、排出量の正確な把握を行うための各種調査を行い、我が国に割り当てられた6%の削減目標を達成する上で効果のある技術（エネルギー転換、産業、民生、運輸、HFC等3ガス、農業、廃棄物、吸収源）を選定し、期待できる普及見込み量、必要な費用等を解析することにより、推進すべき対策を明らかにするとする。また、これらの情報については、集中的に管理し国民に広く情報を提供する。</p> <p>温室効果ガス排出係数実測等調査          温室効果ガス監視ユニット別活動量把握・排出量算定調査          温室効果ガス削減技術シナリオ策定調査          温室効果ガス監視センター設置及び温室効果ガス高度情報システム整備</p>
2 進捗状況	<p>平成 11 年 4 月 地球温暖化対策推進法に基づき、111 の活動分野における算定方法について施行令として制定。</p> <p>平成 12 年 9 月 「温室効果ガス排出量算定方法検討会」において、実測調査等に基づき、1000 余りの排出係数を設定。          （出典：温室効果ガス排出量算定方法に関する検討結果）</p> <p>平成 13 年 3 月 「温室効果ガス削減技術シナリオ策定調査検討会」において、既に定められた対策を実施した場合の2010 年排出量予測と、目標達成に必要な対策の削減ポテンシャルを検討。          （出典：平成 12 年度温室効果ガス削減技術シナリオ策定調査検討会報告書）</p> <p>平成 13 年 6 月 中環審「目標達成シナリオ小委員会」において、約100 種類の対策技術について追加的削減量と費用、制度的課題等を評価した対策技術シートを作成し、目標達成のための経済性評価を行った。この成果は近日中にホームページに公開する予定。          （出典：中央環境審議会 地球環境部会 「目標達成シナリオ小委員会」中間とりまとめ）</p>
3 評価	<p>111 に上る個々の活動分野について 1000 余りの排出係数を一つ一つ課題を明らかとしつつ設定したことより、我が国における温室効果ガス排出量算定とともに、条約上の要請である品質・制度管理対策の基礎を形成できた。</p> <p>シナリオ策定においては、近年の情勢変化を踏まえて、2010 年の排出量を予測するとともに、我が国においてさらに追加的にどのような対策が必要か、またどの程度の費用が必要かについて明らかとすることができ、今後、具体的な取組を進める上での基礎を形成した。</p> <p>いずれも短期間で集中的にあらゆる社会経済活動にわたる排出実態を踏まえた体系的な解析を行うことができ、中央環境審議会をはじめ、温暖化対策の議論の基盤を提供した。</p> <p>順調に効果を上げているが、今後地球温暖化対策の強化に当たっては、さらなるモニタリング、登録システムの整備が必要。</p>
4 予算事項名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガス国別目録策定調査</li> <li>・温室効果ガス排出量・吸収量モニタリング登録システム整備費</li> <li>・温室効果ガス排出量・吸収量モニタリング経費</li> <li>・温室効果ガス削減技術シナリオ策定・普及促進調査費</li> </ul>
5 対応副施策等	